

## 宿泊施設に対するアンケート調査結果

新たな在留資格「特定技能」による外国人材の受入れ制度の開始にあたり、宿泊施設における人手不足の状況や、生産性向上・国内人材確保の取組等についてアンケート調査を行った。

調査方法：宿泊関係 4 団体を通じて、傘下会員にアンケート調査票を配付・回収を行った。

回答数：649

### 調査結果

#### 1. 労働力に関する不足感

①すでに不足 57.2%      ②将来的に不足 37.6%      ③感じていない 5.2%

#### 2. 外国人材の雇用の有無（H29 年度期首時点）

①有り 54.7%      ②無し 39.6%      ③未定 5.7%

#### 3. 外国人材の今後 5 年以内の受入れ意向

①有り 58%      ②無し 11%      ③未定 31%

#### 4. 生産性向上の取組の実施状況（複数回答）

①マルチタスク化の導入 38.3%      ②作業の改善・標準化 63.4%  
③IT化・機械化 61.5%      ④5S3定 4.2%      ⑤その他 1.4%

#### 5. 国内人材確保の取組の実施状況

（給与水準の引き上げ）

①実施中 27.3%      ②検討中 31.6%      ③未検討 41.1%

（休暇制度の拡充）

①実施中 44.6%      ②検討中 35.3%      ③未検討 20.1%

（定年延長等の高齢者雇用促進策）

①実施中 66.1%      ②検討中 12%      ③未検討 21.9%

（シフト配慮等の女性雇用促進策）

①実施中 62.4%      ②検討中 10.6%      ③未検討 27%